


# 本居宣長顕彰短歌大会

松阪の生んだ偉大な国学者・本居宣長（一七三〇〜一八〇一）は、広く日本の古典を研究し、人と歌との密接な関わりを明らかにし、歌を詠むことは人の心を理解する上で最も大事なことだと考えました。何より宣長にとって歌を詠むことは大きな楽しみであり、その生涯に詠んだ歌は一万首を数えます。松阪の人にとって宣長は偉大な学者である前に、歌を楽しみむごく身近な存在の人でした。

「本居宣長顕彰短歌大会」は、短歌を詠むことで歌をこよなく愛した宣長の遺徳をしのぶとともに、歌に親しみ、また歌を通して日本の文化に触れていただこととする行事です。



 本居宣長記念館



令和6年  
11月16日(土) 13:00から

会場 松阪市産業振興センター3階研修ホール  
三重県松阪市本町2176

**投稿料** 一首1,000円(一人二首まで) 小中高生無料

**概要** 大会当日の参加者及び宣長賞作品の講評、表彰  
※大会参加は事前予約が必要です  
参加予約 令和6年7月1日~10月31日

**表彰** 宣長賞3首 賞状・副賞 入選30首 賞状・記念品



— 選者 —

歌人 栗木京子先生

現代歌人協会理事長、歌誌「塔」選者  
2013年「水仙の章」で斎藤茂吉短歌文学賞  
2018年「ランプの精」で毎日芸術賞

**作品集** 応募作品を掲載した作品集を投稿者に進呈  
(学校からの応募の場合は1クラスに1部)

**主催** 本居宣長記念館

**後援** 松阪市 松阪市教育委員会 三重県歌人クラブ  
松阪短歌会 中日新聞社 夕刊三重新聞社  
松阪ケーブルテレビ・ステーション